

# 第1回日本プラグフェスト 開催報告

## 技術本部ハードウェア委員会

第1回プラグフェストが開催されましたので報告いたします。これまで、計測機メーカの自主的な活動として2度ほど開催されていましたが、今回より正式名称を「日本プラグフェスト」とし、JASAの主催で開催されました。

### 会期・場所

平成24年3月15日木曜日～16日金曜日

場所 東京都立産業技術研究センター

主催 社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

### 目的・特徴

同一インターフェース規格(今回はHDMI)での他社製品との相互運用性を確実なものにして、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカは、映像・音声が正しく出力されているか、規格に準拠したとおりの挙動となっているか等を細かくチェックします。さらに、参加メーカ全体の品質を向上させるため、日本プラグフェスト独自の試験項目も実施しています。

### 参加メーカー

シンク機器 16チーム(TV、PJなど)

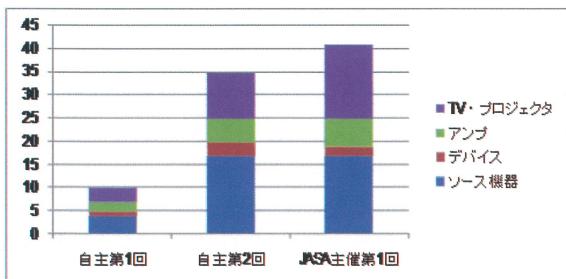
ソース機器 17チーム(BDプレーヤ、スマートフォン、STBなど)

リピータ機器 6チーム(AVアンプ、セレクタなど)

デバイス機器 2チーム(HDMI Tx、HDMI Rx)

計41チーム 85名参加

国内の大手家電メーカーの大半が参加し、所狭しと今年の春夏発売予定の新製品が並びました。



開催毎に参加メーカーが増えています。国内メーカーの大半が日本プラグフェストに参加しています。

### 試験方法

個別試験 各チームと1対1の対戦

システム試験 複数のチームと同時に接続する対戦

ex)TV、PJ、AVアンプ、BDプレーヤ、スマートフォンを複数台同時に接続し、実際のユースケースを想定した試験

東京都立産業技術研究センター様の「東京イノベーションハブ」を会場として使用させて頂きました。



会場風景



築田 稔会長

初日には築田会長、門田専務理事、鈴木事務局長にご観察頂き、懇親会では築田会長からご挨拶を頂戴いたしました。

### 参加者の声

いろいろと情報も頂き楽しみながら良い結果を得ることができました。ありがとうございました。

・大変お世話になりました。日本プラグフェストの運営お疲れさまです。お陰さまでスムーズに有意義な試験が出来、助かりました。

・システム試験の項目は当社で確認したい項目を確認でき、内容として充実していました。

・日本プラグフェスト終了後、数週間後にもう一度再試験および予備日を設定して欲しい。見つかった不具合を解決して再試験したいので。

・今後参加メーカーが増えると更に有益なテストになると思いますので宜しくお願ひします。

・他の規格でも参加できると良いと思いました。

### 日本プラグフェストの次回の予定

次回開催は秋(9月または10月)となります。

今後は年2回(春・秋)で定期開催を予定しています。

### 今後の活動について

参加者に対して、高品質な製品開発をテーマとした講習会や、新しい規格への対応についてのテクニカルミーティングの開催をしたいと思います。今回はHDMIでの開催でしたが、JASA会員企業や規格団体からの要請があれば、他のインターフェース規格での開催も検討します。